

第27回修行 神道の会

第27回目となる修行は、川越八幡宮にて宮司の榊原祥光様のご指導の下「神道の会」を開催し、19名もの会員の方にご参加いただきました。今回の修行の会としては初めての神道の会で、生活の中の神道、神さまをもっと身近にというテーマで、日常生活をしていく中での神事・考え方・歴史文化や神事に関する礼儀作法などを約45分間で講義いただきました。

講義後半はクイズ形式での神道の事を解り易く教えていただき参加者には大変賑わって好評でした。

参加者による今回の感想でも日常生活での神道についての考え方など本日参加して大変良かったのと講師の榊原さんの説明が解りやすかったなどのお声をたくさん頂戴しており、参加者の方々にはご満



講師 榊原 祥光様

足頂けたようです。

懇親会では、修行の成果や今後の修行などの意見交換をしながら楽しい席となりました。

今後も修行の会でたくさん修行を企画しておりますので奮ってご参加ください。

担当会長 白木 智章

お花見の会 報告

昨年引き続き今年も「お花見の会」を喜多院にて無事に開催することができました。開催前々日あたりから天候が怪しくなり開催も危ぶまれましたが皆様の日ごろの心がけのおかげか53名という多くの皆様とお花前の蕾を愛でながらの楽しいお花見となりました。

開催時期が3月27日ということもあり、今年卒業される方々にもご参加いただけたことで、令和5年度の締めくく

りとして最高の会になったと思います。ご参加いただいた皆様ありがとうございました。来年こそは満開の桜の下でお花見ができますように・・・

西部地区

幹事 柴崎 弓弦



部長挨拶

〜一年を終えて〜

2023年4月に始まった今期の青年部。5月に新型コロナウイルスは5類相当に移行され、各団体でも活動が一気に盛んになり、青年部でも新型コロナウイルスが流行する前のような活動に戻りました。

この一年は、参加者の増員および、青年部の目標の浸透を考へて各地区、室の皆様には活動をしていただきました。また、就任時に掲げたスローガン、「交流の向こう側」の意味として、交流を通じて仲間を作り、経済的に発展して将来の川越市及び西部地区の経済的基礎となることを



編集後記

最近では「ソフト老害」なんて言葉が流行っているようでして、いつまでも若いと思われているのは自分だけで、知らぬ間に青年部の「ソフト老害」になっているのではないかと不安にかられる今日このごろでございます。

さて、ソフト老害の特徴はというと、1. 上から目線で自分の意見を押し付ける。/ 2. 過去のやり方こそが正しいと思いついて入っている。/ 3. 自分の非を認めない。/ 4. 年寄扱いされると怒る。

と、これまで仕事を頑張ってきた40代のビジネスパーソンであれば、どれか一つくらいは当てはまる項目があるのではないかなと感じますが、自分には一つも当てはまらないから大丈夫だと胸を撫でおろしているそのあなた！おめでとうござります。そんなあなたは「ガチ老害」です。「俺が育ててやる」という上から目線ではなく、「一緒に育っていく」という謙虚な気持ちで青年部活動をエンジョイしていきましょう。

情報発信室 鈴木 覚

川越商工会議所青年部 登録事業者数 205社

(令和6年4月17日現在)
・川越商工会議所青年部 会報誌 『鐘の音』第80号
令和6年4月17日発行
編集・発行責任者 川越商工会議所青年部 情報発信室 副部長 奥富 将之
・情報発信室 幹事: 竹村 仁/櫻井 良樹 鈴木 覚/村中 由紀/立原 明

川越商工会議所 青年部会報誌

平成18年(2006年)5月29日設立。川越に集う青年経済人に「互いの知性や感性を磨き合い、新たな発想や活力を生み出す場」を提供することを目的とし、次代の川越商工会議所と川越市経済界、そして埼玉県西部地域の更なる発展を推し進めていくことを念頭に活動をしています。

川越商工会議所青年部とは

第28回 全体協議会報告

先日の2月22日、第28回全体協議会と一年間の表彰、卒業式が行われました。

今回の担当は、私たち情報発信室が担当致しました。会場はラポ・ア・ラクテにて、一部では次年度の事業と予算案を決める厳粛な会議と後半では、各地区の活動報告が行われます。篠原部長を議長といたしました。慎重なる審議が行われ、横田副会長や飯野相談役を迎え、多くの青年部会員が参加する中で満場一致で次年度の議案が可決されました。

そして、一年の最後を締めく

くる最後の会として各地区、室からの活動報告があり、一年間活動の総括とも言える発表がありました。

各副部長それぞれの特色を活かした内容で、最近では動画での発表が中心になってきていますが、AIを使った発表やインタビュウ型など、個性あふれる発表は見ていて非常に面白く盛り上がりました。

2部では会場を移動して、皆勤賞、VP、MVPの表彰が行われます。今回の皆勤賞は11名。皆さん一年を通して勢力的、活発に青年部の活動をされてきた方達ばかりです。皆勤賞は年間のすべての事業に必ず参加させている方達ですから、会員の皆さん



議長を務める篠原部長

温かい拍手の中でステージに登壇されていました。

今回の皆勤賞の賞品は、情報メンバ―村中さんのsup coffee ドリップコーヒースセット。皆勤者ひとり一人の顔写真が入っていて、受賞の皆さんとても喜んでくださいました。

また、サプライズ企画と致しまして、商工会議所の青年部担当の鈴木さんに敢闘賞が送られました。事務局として一年間頑張ってくれた鈴木さんには会員の皆様も感謝しありがとうございます。鈴木さんも予想外の受賞に喜んでくれました。

準備段階では、写真を探したり、素材選びなど綿密な打ち合わせが行われ、画質が荒いとか、良い写真が無いとか言いながらも素晴らしい記念品を渡すこと



左 MVP の塚越さん、右 VP の家内さん

が出来たと思います。そして、皆勤賞を受賞したメンバーの中から優秀会員賞(VP)と最優秀賞会員賞(MVP)が選ばれます。今期の受賞者はVPが武蔵野ビル管理サービス株式会社の家内雅幸さん。本来の青年部での活動はもちろん、修行部、ゴルフ部でも勢力的に活動に参加されました。

MVPの受賞者は、株式会社O.O.の塚越雄一さん。マラソン大会では社員さんを連れての準備に貢献、交流会ではパネリストとして登壇するなど、若手でありながら持ち前の人柄とムードメーカーとも言える存在感は、会員の皆さんも知らない人はいないと思います。

副賞として、お名前入りの盾と会員の株式会社トリトスさんの訪問撮影プランが送られました。こ

ちらの賞品は、普段あまり形には残らない働く姿や、受賞者の宣材写真など撮ってもらえるそう形で形に残る素晴らしい贈り物だと思います。

そして2部のファイナレは、長年青年部を支えてこられた先輩方の卒業式です。青年部は50歳で卒業となりますが、今年の卒業生は15名。長い方は創立から17年と長い期間で青年部を支えてくださいました。

今回卒業式に参加したされたメンバーは6名、各自それぞれの想いを込めた入場曲で入場、冒頭から大いに盛り上がりを見せました。記念品には創業200年を越えるハンコの老舗パンコドウから、卒業生をイメージした手彫りのオリジナルのハンコが送られ、篠原部長からの送辞の場面では、長年の活動に涙ぐむ場面など、感動的な素晴らしいセレモニーであったと思います。

今回、情報企画室の幹事として関わらせて頂き、また会員皆様とも一段と深い絆が芽生えた。そんな全体協議会であったと思えます。長くなりましたが、会員皆様の今後のご健勝、ご多幸をお祈り致します。活動報告とさせていただきます。

情報発信室 幹事 竹村

卒業生から
贈る言葉を
頂きました



青年部の設立時、私は既に別の某団体に所属しており、数年後青年部に入会後も30代のあいだは碌に参加できずにいました。ですが青年部活動に参加できるようになってからは、某団体との違いをはっきり認識することになりました。

事業を行っていく上で、その経緯・そもその団体の目的などの違いが私の価値観を大きく広げてもらえたなど、今まさに実感しております。無論、どちらの・どの団体が優れているとは語るつもりはありません。

それでも、青年部の特筆すべき良い点として、団体としての一体感が挙がるのかなと思っております。マラソン然り、交流会然り、その他然り、これをとっても皆で行動し皆で成し遂げる、そのような積み重ねがOBとなった方々を含め、青年部の一体感を作り上げているのだと思います。

青年部は川越商工会議所という大きな括りの中の一部です。しかしながらその括りの中で青年部の一体感は、括りを飛び越えて川越商工会議所全体に良い影響を及ぼしているのを感じます。



株式会社三上工務所

三上 裕司



先の卒業式ではたくさんの方にお集まりいただき盛大に開催いただきましたありがとうございます。最後の青年部と思いを、少し羽目を外しすぎましたことをこの場をお借りしましてお詫び申し上げます。(笑)

振り返ってみると色々思い出が走馬灯のように駆け巡りしますが、ありません。沢山あります。すべてを思い返したらきりがないので割愛しますが、一つだけ挙げるのなら最後の自分の卒業式でしょうか？楽しかったです。

現役の皆様にご贈る言葉として一言。青年部はビジネスマッチングの場などとも言われています。でもその前に同じ地域の同じ世代の人間が集まる場所が青年部であって会社のPRではなく

先ずは自分自身のPRを青年部活動を通してやってほしいと思っております。その先でビジネスも繋がっていくればいいですね。



北部地区
山口油村

山口 貴正



まず、青年部に入会したのは2014の第14回全体協議会が初参加で、鈴木陽一先輩から島崎先輩への部長提灯の引き継がれるシーンを覚えております。

最初はやる気も無く付合ただからと参加していましたが、先輩方に優しく導かれて、懇親会やら参加させて頂いている間に青年部が楽しくなってきました。

入会して2・3年ぐらいで幹事をやらせて頂いたのですが、私の器で動まるか不安で大変な事もありましたが、2期4年も動める事が出来ました。そして、月日が流れ去年の4月に脳幹出血にて入院、半年間を棒に振りましたが帰って来ました、なんだかんだで卒業目前になりました。とゆう間でした。

「楽しかった」有難う御座いました。

東部地区
有限会社長谷川

長谷川 洋



「青年部は私にとって青春でした」

先日卒業式で発した一言は、私には決して大袈裟なものではありません。私が思う塾業界というのは本当に閉鎖されている民族業界で、いろいろな分野で活躍されている方と交流するということとは、とりわけ人見知りな私にとっては本当にハードルの高い課題だったのです。

私の青年部デビューは、西部地区が大いに団結を見せたバスケット大会だったのですが、その時から本当に多くの先輩方に可愛かって頂きました。この場を借りまして、心より御礼を申し上げます。

私が先輩の皆さんにできることは少なく、ただ「遊びは本気」と自分を鼓舞した姿を皆さんに見せることでした。楽しいことを楽しく「みんなが先頭に立つ

て」突っ走るのは、景気も政治も平和さえも、全ての循環を良くするのだと思います。

これから私は皆さんの青年ぶりを精一杯応援します。青年時代は短い。みなさん本気で楽しんで青年してください。楽しかった！ありがとうございます！

西部地区
桜英数個別塾

榎並 和良



皆勤賞のみなさま

川越商工会議所青年部は、他市出身で同年代の知り合いがいなかった私にとって、川越の街と皆様に深く接することができ、とても貴重な場所でした。分け隔てなく接していただいた皆様の優しさは、今でも弊社と自分自身の大切な財産となっております。

卒業しても皆様とのご縁は変わりませんので、お気軽にお声かけいただければ嬉しいです。

今後もしも真剣に！時に楽しく！青年部皆様が、将来の川越発展のために尽力されることを、これからも応援しております。本当にありがとうございます。

北部地区
欧米自動車株式会社

杉田 裕一

